

仙台デザイン専門学校
令和6年度 自己点検・評価 報告書

令和7年 5月

学校法人 北杜学園
仙台デザイン専門学校

《令和6年度 自己点検・評価について》

仙台デザイン専門学校は、昭和42年に仙台デザイン専門学院として創立認可後、昭和51年に専修学校の認可を受け、仙台デザイン専門学校と改称し、デザインを通して社会に貢献しうる専門職業人を輩出し、卒業生は多くの分野で活躍しております。

本校では、専修学校としての責務を果たすべく、自己評価・学校関係者評価を実施し、専修学校教育の特徴を活かした学校運営や教育活動の質の向上を図っております。

本校が実践的な職業教育等を目的とした自らの教育活動及びその他の学校運営について、社会のニーズを踏まえ目指すべき目標項目を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みについて評価・公表し、学校としての組織的、継続的な改善を図ってまいりたいと考えております。

令和6年度における学校評価におきましても適切に公表し、東北で最古の伝統あるデザインの単科校として、教職員一丸となり、特色のある学校づくりを進めてまいりたいと考えております。

令和7年5月

学校法人 北杜学園

仙台デザイン専門学校

校長・自己評価委員会委員長 鈴木 一樹

《教育理念・教育目標》

1.学園教育理念

自主・友愛・至誠の理念のもと地域社会に貢献できる豊かな人間性を備えた専門職業人を育成する。

2.教育目標

個性を尊重した基礎教育と技術指導により、デザインをただ単に形を変え表現するだけではなく、デザインを通し社会に貢献しうる「デザインマインド」を持った有能なる人材を養成する。さらに、モノと人間、環境と人間の「共生」をめざす未来のクリエイター育成に努める。

3.目的

学校教育法に基づき、デザイナーとしての技術及び実際生活に必要な能力を育成し、産業界の発展向上に寄与する。

4.本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・ 学生満足度の向上
- ・ 学生へのマナー指導
- ・ 入学生 120 名
- ・ 就職率 98%
- ・ 退学率 4 %未満
- ・ 教員のスキルアップと組織力向上
- ・ コンプライアンスの遵守
- ・ 業務効率化と経費節減

《自己点検・評価概要》

1. 評価対象期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

2. 実施方法

平成25年3月に文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、校長の指示・監督の下、教務統括を実務リーダーとし、自己評価項目に合わせた自己評価を実施している。

3. 自己評価項目

次の10項目を評価大項目とし、各大項目に関して小項目を設定し評価している。

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 教育理念・目標 | 6. 教育環境 |
| 2. 学校運営 | 7. 学生の受入れ |
| 3. 教育活動 | 8. 財務 |
| 4. 学修成果 | 9. 法令等の遵守 |
| 5. 学生支援 | 10. 社会貢献・地域貢献 |

4. 評価基準

次の4段階評価としている。

適切…4 おおむね適切…3 やや不適切…2 不適切…1

《自己評価項目》

1 教育理念・目標

評価項目	評価
1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
2 学校における職業教育の特色を明確にしているか	4
3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5 学科の教育目標、育成人材像は、学科に対応する業界ニーズに向けて方向づけられているか	4

（1）現状及び課題

- ・教育目標や教育方針は募集要項、ホームページにて公開している。
- ・ビジュアルデザイン単科の専門学校として、業界の特性を意識した7つのコースを設定している。
- ・様々な経験やより幅広い知識、ユニークな発想など一人のクリエイターに対して多彩な要素が求められているため、各自の目標に合わせた多彩な選択授業を開講している。
- ・教育目標や教育方針は学生便覧に掲載しており、新入生ガイダンスを設け説明している。また、保護者に対しても同資料を配布し、本学の概要について周知に努めている。

（2）改善方策

- ・業界との連携を更に深め、業界が求める人材を育成するためのカリキュラムを随時検討、改善していく。

2 学校運営

評価項目	評価
1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
4 人事、給与に関する制度は整備されているか	4
5 教務・財務等の組織設備など意思決定システムは整備されているか	4
6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(1) 現状及び課題

- ・ 学園方針に基づき、年度目標を定め、教育目標、就職率、退学防止、学生募集等を行っている。
- ・ 運営方針や事業計画等について、理事会・評議員会で承認を受け、年度予算、資金計画等が確定されている。
- ・ 運営組織は組織図において明示されており、職責、権限が明確に規定されている。
- ・ 人事、給与に関する制度は就業規則に明記され、随時閲覧できる状況にある。
- ・ 法律を遵守し、社会倫理に従って学校運営を行っている。
- ・ 教育活動について、学校案内、学校HPを通して関係業界や地域社会及び入学希望者等に向けて最新の情報を発信している。
- ・ 学園内の情報システム化が図られているが、十分とはいえない状態が続いている。

(2) 改善方策

- ・ 学園内の情報システムについては、業務効率化に向けて学園へ要望する。

3 教育活動

評価項目	評価
1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3 学科のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が実施されているか	4
5 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	3
7 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
10 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはある	4
11 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12 関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか	4
14 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

(1) 現状及び課題

- ・ 教育理念、業界ニーズを踏まえた人材育成の観点から、適宜カリキュラムの見直しを行い、必要に応じて整備している。
- ・ 現在の業界、ニーズに応え、新技術（生成AIなど）への対応を図ったカリキュラムの導入を行っている。
- ・ 外部講師による就職セミナー等を実施しているとともに、求人先より就職試験結果のフィードバックを受け、企業と連携し学生支援に取り組んでいる。
- ・ 学生による授業評価アンケートを実施、各教員へフィードバックし、授業方法や学生対応、授業資料の改善等に反映させ、学生の授業満足度の向上につなげる。
- ・ 授業において検定試験対策を行い、全国合格率を上回る合格率となっている。
- ・ 教員研修として、業界トレンドの最新技術を受講し、スキルアップを図り、授業運営に活かしていく。

(2) 改善方策

- ・ FDを通して各教員がスキルアップを図り、得られた知識・技術を授業へフィードバックすることで学生の学習意欲や技術向上へ活かす。

4 学修成果

評価項目	評価
1 就職率の向上が図られているか	4
2 資格取得率の向上が図られているか	4
3 退学率の低減が図られているか	2
4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

(1) 現状及び課題

- ・学生の意識改革に取り組み、昨年度に引き続き就職率 100%を達成した。デザイン業界の厳しい採用状況に対応するため、就職支援担当者、担任、企業と今後も密な連携を図っていく。
- ・授業において検定試験対策を行い、全国合格率を上回る合格率となっているが、不合格者はソフト習熟度以前の基礎学力低下の要因と考えられる。
- ・精神的な問題による不登校や退学のケースが増加傾向にあるため、専門のカウンセラーによる対応に力を入れている。退学率低減を図るため、各担任と学生相談室との連携を強化し、カウンセリング等を通して手厚い個々のケアを行っているが、年間の退学率は4%を超えている。
- ・在校生の企業や自治体、各種団体主催のデザインコンペの各種入賞等を確認し、ホームページや SNS で随時公開している。
- ・求人先の企業から情報を得るとともに、OB 講話や企業説明会で卒業生のキャリア形成状況と企業側のニーズを把握するよう努めている。

(2) 改善方策

- ・日頃から教職員間で学生の状況を把握し、情報共有を図る。精神的な問題を抱える学生が多いため、学生相談室と更なる連携をし、学生の状態を共有することで退学防止に努める。

5 学生支援

評価項目	評価
1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2 学生相談に関する体制は整備されているか	4
3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6 学生の生活環境への支援は行われているか	3
7 保護者と適切に連携しているか	4
8 卒業生への支援体制はあるか	3
9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10 高校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

(1) 現状及び課題

- ・担任制により、学生指導、生活指導や面談、相談等に個別に対応している。
- ・就職担当者及び新卒応援ハローワークと連携、面談、面接指導等の個別対応を行い、支援を行っている。
- ・学内に学生相談室を設け、専門のカウンセラーによる学生のさまざまな悩みに対応し、精神的な悩みや不安を抱える学生のケアに努めている。
- ・日本学生支援機構奨学金、高等教育の修学支援新制度及び学園独自の特待生制度を設けている。
- ・学生の健康管理については、年度当初に健康診断を実施し、異常を認められた学生には精密検査を受診するように指導している。保健室を設け、体調不良の学生の対応をしている。
- ・授業終了後に教育環境の開放等を実施、アルバイト・ボランティアの情報提供をしている。
- ・学生寮を設けており、寮・アパートの斡旋なども含め学生への経済面・生活面に対する支援を行っている。
- ・定期的に出席状況及び各教科における成績を保護者に報告しており、問題があると判断される場合は保護者へ連絡、面談等を随時実施するなどの連携をとり、問題解決を図っている。
- ・保護者との連絡も密に行っており、情報共有している。
- ・中高校生へのキャリア教育推進に努め、授業見学、体験授業を受け入れている。

(2) 改善方策

- ・社会の動きや就職活動を取り巻く現状認識が低い学生が多いため、企業講話・学内企業説明会・内定者講話、各種就職セミナーを開催し、学生の意識改革、就職意識向上に継続的に取り組む。
- ・学生相談室カウンセラーと連携を強化し、学生のさまざまな悩みごとに対する窓口として更に充実を図る。

6 教育環境

評価項目	評価
1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2 インターンシップについて十分な教育体制を整備しているか	4
3 防災に対する体制は整備されているか	4

(1) 現状及び課題

- ・全館 Wi-Fi を設置しておりインターネット環境は整備されている。
- ・常時、パソコンソフトなどの最新のものへの更新は必須であるため、計画的に進めていく。次年度パソコン入れ替え及び大型モニターを設置し、Web ルームの環境整備を行う。
- ・校舎老朽化に伴い、トイレ、洗面台の全面改修を行い、快適な学生生活を送るための環境を整えた。
- ・消防計画及び安全計画、資材の備蓄などの防災に対する体制を整備している。年 1 回避難訓練を実施している。

(2) 改善方策

- ・常に学生が快適に過ごせるよう、環境上の問題が発生した場合、順次対応を図る。

7 学生の受入れ募集

評価項目	評価
1 学生募集活動は、適正に行われているか	4
2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3 学納金は妥当なものとなっているか	4

(1) 現状及び課題

- ・学校案内やホームページ、オープンキャンパス、その他進学情報誌等に掲載する情報ならびに説明表現については、真実性、公平性、明瞭性を考慮して公開している。また、資格取得実績や就職、卒業生の活躍等の教育成果についても「個人情報公表に関する同意書」に基づき公開している。
- ・教育成果は学校案内、ホームページ、SNS 等において正確に伝えている。
- ・学納金は、教育内容、学生本人および保護者の負担感を考慮し、社会情勢も踏まえて決定しており、妥当だと考える。

(2) 改善方策

- ・広報担当者との更なる連携を図りオープンキャンパスへの来場者を促すとともに、メディア戦略による学生募集活動の充実を図る。

8 財務

評価項目	評価
1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3 財務について会計監査が適正に行われているか	4
4 財務情報公開の体制整備はできているか	4

(1) 現状及び課題

- ・中長期的視野による事業計画を策定・実施し、流動性と安定性を確保した資産運用を行い、さらなる財務基盤の安定を図る。
- ・予算・収支計画は過年度の財務状況に照らして、有効かつ適正に行っている。
- ・会計監査については、法令に基づき、監査法人及び幹事により適正に行われている。
- ・事業報告及び財務情報については、ホームページにおいて公開している。

(2) 改善方策

- ・公益性を踏まえ、広く社会に説明責任を果たすべく、更なる改善を図っていく。
- ・18 歳人口の減少に備え、独立採算制の管理をより徹底し、財務基盤の安定性を維持していく必要がある。また同時に、教育環境の充実に向けた投資を持続的に実施していく。

9 法令等の遵守

評価項目	評価
1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4 自己評価結果を公開しているか	4

(1) 現状及び課題

- ・関係法令の理解及び法令遵守をし、適正に運営している。
- ・個人情報保護に関しては、「学校法人北杜学園 個人情報保護規定」に基づき、学園が有する個人情報については、学園プライバシー・ポリシー（個人情報保護方針）に基づく適正な保護の実現を図っており、学生より提出された「個人情報公表に関する同意書」による同意を得た上で事実に基づき、情報を公開している。
- ・かねてより自己評価の実施及び、その結果を踏まえて教育活動等の改善を行ってきた。今後も、自己評価の問題点があった場合は速やかに解決していきたい。
- ・自己評価結果は本校ホームページにおいて公開している。

(2) 改善方策

- ・個人情報の管理や公開に関する検証を行う。

10 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1 学校の教育成果を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2 学生の学外活動を奨励、支援しているか。	2

(1) 現状及び課題

- ・パブリシティを考慮した課題テーマや、各地方自治体や企業・団体等からの依頼に基づくテーマを取り上げるなど幅広く社会のニーズに対応している。
- ・企業・自治体主催の各種デザインコンペの企画に協賛し、授業課題として作品を仕上げ、その作品を出展し、受賞及び実採用などの実績を上げている。

(2) 改善方策

- ・学生の職業意識を高め、企業や自治体との連携を図る取り組みを継続する。
- ・学生個々の学外活動については把握しきれていないので、今後情報収集を始め対応を検討していく。